

教育課程研究指定校事業実施計画書（平成26年度）  
 — 研究課題 2 高等学校 —

都道府県・指定都市番号	1	都道府県・指定都市名	北海道
-------------	---	------------	-----

公立・私立・国立（○で囲む）

1 研究指定校の概要

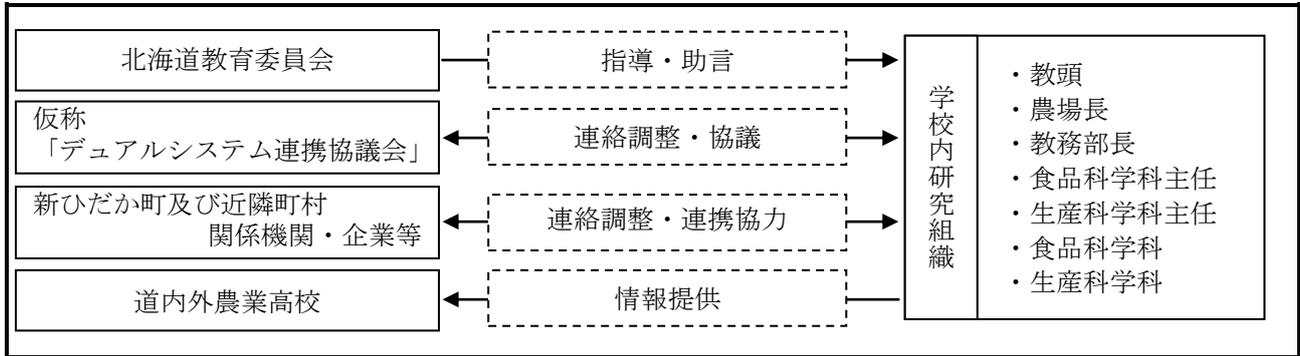
ふりがな 学 校 名	ほっかいどうしずないのうぎようこうとうがっこう 北海道静内農業高等学校				ふりがな 校 長 氏 名	ふたつき ひろし 二木 浩志
所 在 地	〒056-0144 北海道日高郡新ひだか町静内田原 797 番地 電話:(0146)46-2101 FAX:(0146)46-2151 e-mail:shizunainougyou-z1@hokkaido-c.ed.jp					
設置する 課 程 (H26.4.1 現在)	全日制				(H26.4.1 現在。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む) 教員数 28名	
生 徒 数 (H26.4.1 現在)					[調査研究にかかわる教科等の教員数]	
学 科 名	1年	2年	3年	4年	計	
食品科学科	33	34	39	—	106	
生産科学科	27	29	33	—	89	
計	60	63	72	—	195	
特記事項						

2 研究主題

教科等名	農業	教科課題番号等	
学校における研究主題	地域農業や地域社会の持続的かつ安定的な発展に寄与する産業人育成に関する研究 ～地域教育力を活用した農業教育の指導方法と評価方法等の工夫・改善～		
研究主題設定の理由	<p>本校は、食品科学科と生産科学科の2学科を設置しており、農業の担い手や関連産業に従事する人材育成を目指して、教育活動を推進している。</p> <p>農業高校においては、生徒が、社会の変化等に適切に対応できるよう、職業人として必要な基礎的・基本的な知識、技術及び技能を確実に習得させることが求められており、地域のニーズを踏まえるとともに、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る指導方法や評価方法の工夫・改善に取り組むことなど、教育の質保証を担保するための教育課程を編成することが重要である。</p> <p>こうしたことから、農業教育の充実と、社会の変化に柔軟に対応できる力の育成を図ることを目指した教育課程の改善・充実についての研究に取り組むため、本研究主題を設定した。</p>		
研究の内容や方法等	<p>(1) 座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫・改善 原則履修科目「農業と環境」における農業学習のガイダンスとなるプロジェクト学習や科目「作物」、「畜産」、「総合実習」等におけるプロジェクト学習の指導方法と評価方法等の工夫・改善を行う。</p> <p>(2) 原則履修科目「農業と環境」における学習状況の適切な把握と授業改善 農業技術検定や学力テスト等による学習状況の把握と分析を行うとともに、その結果を踏まえた授業改善を行う。</p> <p>(3) 地域関係機関と連携した農業教育の改善 地域農業等の人材の育成・確保のシステムを構築するため、日高振興局、JA、町、農家・企業等で組織する仮称「デュアルシステム連携協議会」を設置し、地域農業等人材育成を図るための具体的方策を協議し農業教育の改善を行う。</p>		

成果の検証方法等	(1) 教員及び生徒による授業評価及び自己評価の実施 (2) 公開授業・研究授業及び校内研修会における内部評価の実施 (3) 仮称「デュアルシステム連携協議会」における外部評価の実施 (4) 教員及び生徒へのアンケート調査の実施と分析
----------	--

### 3 研究体制等



### 4 研究計画

実施時期	研究内容, 研究方法, 成果の公開等	期待される成果等
前期	1 生徒に対するアンケート等の実施による現状把握と到達目標の設定 2 農業科における各科目の評価規準の作成 3 科目「農業と環境」及び学校設定科目「デュアル派遣実習」における記録簿等の作成 4 プロジェクト学習や座学と実験・実習に関する研修会の実施 5 仮称「デュアルシステム連携協議会」の設置と取組についての協議の実施 6 地域の教育力を活用した事業やプロジェクト学習の実施 7 公開授業や研究授業と合評会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート等により生徒の学習状況等を把握することができ、授業の到達目標になる。</li> <li>「農業と環境」、「デュアル派遣実習」のワークシートを作成することで、観点別の学習状況の評価の充実が図れる。</li> <li>指導と評価の一体化を図った授業の改善を行うことで、生徒の興味・関心の喚起や理解の深化が図れる。</li> </ul>
後期	1 食品科学科・生産科学科の教育課程の点検・評価 2 日本農業技術検定についての指導体系の確立 3 研究内容の検証(学校評価や仮称「デュアルシステム連携協議会」での協議) 4 活動成果発表会の開催 5 生徒に対するアンケート等の実施による成果の確認 6 調査研究のまとめ 7 Web ページ等による、研究機関、地域、保護者等への研究成果の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題解決型プロジェクト学習の充実により、担い手育成に向けた取組の促進が図れる。</li> <li>研究成果を北海道の農業高校に情報発信することで、道内の農業高校の取組の充実が図れる。</li> </ul>

### 5 研究のまとめや成果の普及方法等の見直し

<p>研究のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道高等学校農業教育研究大会などの各種研究会において、座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法についての研究発表を行う。</li> <li>生徒にとってわかりやすく活用しやすいシラバスと自己評価(観点別)を入れた記録簿を作成する。</li> </ul> <p>成果の普及方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動成果発表会を開催するとともに、Web ページに活動状況の成果を公表することにより、北海道の農業高校における教育内容の改善・充実に生かす。</li> </ul>
---